



子どもセンターニュース



体験活動 (P.4・6)

TOPICS

- P.2 工夫して楽しんで乗り越える力を!
- P.3 大型人形劇「チト」
- P.4・5 ユース研修 (有機農園にて)
- P.4・5 わくわく子どもキッチン
- P.6 寺子屋
- P.7 クリスマス会
学習会「デートDVについて」
- P.8 行事予定

子どもセンターへのアクセス



- 地下鉄 (谷町線): 関目高殿駅4番出口から北へ徒歩7分
 - 地下鉄 (今里筋線): 関目成育駅 徒歩10分
 - 京阪電車: 関目駅 徒歩10分
 - 市バス: 「高殿7丁目」徒歩3分
- * 駐車場はございません

NPO 法人 子どもセンターあさひ

大阪市旭区高殿 6-17-10-201 子どもセンターあさひ けんさく

TEL:06-6951-0055 FAX:06-6951-0056

e-mail:asahi@kodomo-center.org



フォロー
してね!



新しい年がスタートしました。昨年は、「人が集うこと」への制限が強いられましたが、会員の皆さん・地域の方々に支えられていることも実感しました。毎年恒例になってきた「みんなのおまつり」も開催せずでしたが、おまつりに参加のアーティストの方々に寺子屋の講師としてご協力いただきました。体験だけでなく、いろんな自分を表現する方法・生き方があることにも触れ、多様な仕事があること、自分の好きな



こと・可能性の広げ方にも出会う機会となりました。(P.6) また、日常よりバザー用品をたくさんご提供いただいておりますが、おまつりがなく活用できずにいしましたが、おまつり出店者の方々に相談すると、商店街の一角を貸していただければフリマを開催し、地域の方々にも喜んでいただくことができました。年末のおもちゃつきにも、地域の方々がお手伝いに来てくださり、とてもありがとうございました。自分たちの工夫を重

のびのびと活動

ね、交流の場・学び合いの時間を大切にしています。日頃我慢を強いられている子ども達はこのびのびと活動し、親達にとっても束の間のホッとする空間となっております。大きな家族にクリスマス会では、懐かしいメンバーの参加もあり幅広い年齢での交流となりました。かつて幼児チームだった子が中学生になり助っ人として来てくれたり、「大学生になったら手伝いに来るね」と言っていた子が実際に来てくれました。



大きな家族に

社会人になったユーザーメンバが、結婚報告に二人で参加してくれたり、かつてのお助けマン(学生ボランティア)から、結婚・出産のお知らせが届いたり、うれしいこともたくさん。15年前に子どもセンターが完成し、「大きな家族」のような存在になりたい、と幼児期から子ども達のケン力を見守り合ったり、我が子以外の成長も喜び合える、子どもも大人も信頼しあえる仲間づくりを目指してきましたが、それが具現



化されたようなステキな日でした。(P.7)



実験を子ども達と

秋の有機農園さんでの研修の報告会(P.4・5)もユーザーから行い、実験を通しての話から、時折届くお野菜のありがたさ・おいしさが倍増し、ぐんと農家さんとの距離が縮まりました。今年は、子ども達とも農業体験ができないものか思案中です。



7月に平和をテーマにした大型人形劇「チト」の上演にも取り組みます。(P.3)「子どもにはケンカしたらアカンって大人は言うのに、なんで戦争はなくならんへんの？」という素朴な問いにどのように向き合えるのか？難しいテーマ＆予算規模も大きく一度は断念した作品ですが、世界中で力を合わせて困難を乗り越えようとしている今だからこそ、と取り組みます。

感染症の猛威に人間の無力さを痛感しますが、「人間も自然界のほんの一部の存在」であることを謙虚に受け止め、地球人として連携し、子ども若者達と、困難を工夫して楽しんで乗り越える力をつけていきたいと思います。これからもご支援・ご協力をお願いいたします。

舞台鑑賞作品決定!!

ものがたり

ばら色の頬に金色の巻き毛のチト。裕福な両親に愛されて育った8才の少年チト。チトには不思議な力がありました。親指をあてると、どんな所にも花を咲かせ緑を育てることができる。刑務所、病院、貧民街…チトは街を花や緑でいっぱいにし人々を驚かせます。ある日、戦争のニュースが飛び込んできてチトのパパは大忙し。チトのお父さんは巨大な兵器工場を営み、莫大な富を得る兵器商人だったのです。それを知ったチトは…

2021年7月22日(祝)開演14:00
会場:エルシアター
(最寄駅:京阪/地下鉄「天満橋」)

原作/「TISTOU LES POUCES VERTS」
作/Maurice DRUON
(著作権代理:(株)フランス著作権事務所)
訳/安東次男
(「みどりのゆび」岩波書店刊)
脚色/篠原久美子(劇団劇作家)
演出/福永朝子

チト

みどりのゆびをもつ少年



← 公演のダイジェスト映像 YouTube

映画「できる ~セ・ポシブル~」

~若いフランス人カップルが日本で見つけた持続可能な暮らしの未来像~

甚大な被害をもたらした2011年3月11日の東日本大震災。これまでのライフスタイルを見直し、よりエコロジカルで持続可能な暮らし方に移行した日本人は少なくない。これらの変化に熱視線を注ぎ、日本中を旅した30代の若いフランス人カップルがいる。彼らは、エコロジカルな暮らしの実践者達に会うため、8ヶ月の間、ボランティアしながら日本を縦断することを決意する。3500kmのヒッチハイクを含む5000kmで訪れた場所の数は15ヶ所。訪問先は、自然と調和したライフスタイルを実践しているエコビレッジ・アペレイ、地域通貨や自然エネルギーに取り組むトランジション藤野、都会のど真ん中でパーマカルチャーに挑戦している東京アーバンパーマカルチャー、ごみのない社会への転換に取り組むゼロ・ウェイストアカデミーなど。2人は各地を巡り持続可能な未来のためのヒントを発見していく。合言葉は「できる」。フランス語だと「セ・ポシブル」。さあ、マキルダとジョナサンと旅に出よう!



上映会



3月(日程調整中) オンライン上映有

詳細はHPにアップしていきます

助成: 大阪市ボランティア活動振興基金

生産者と消費者がつながり 変わる意識

ユースの先輩方からお話を聞いて、ずっと参加してみたかったユース研修に、今年初めて参加することができました！どの活動も新鮮で楽しく、このボランティアに参加していなければ出来ないようなことばかりでした。1日目の午後、竹を切らせていただけたらとのごことで山へ。晩御飯用の食器や炊飯用の竹筒、流しそうめんの流し台を竹で作成しました。普段ではなかなか出来ないような経験で、とても新鮮でした。夜には、自分たちで切った竹を使ったパウムクーヘンを、小麦粉と米粉の2種類作りました。粉の性質が関係しているのか、米粉がサラサラとした生地であり上手く層になりませんでした。しかし、何事も経験、失敗は成功のもとということで、今後、米粉のレシピを考えるときの参考にしたいと思います。

2日目は、待ちに待ったばんごんじんじいさんでの農作業体験をしました。今年は、代々受け継がれているという貴重なそら豆の種を植えさせていただきました！「種を植える」と一口に言っても、雑草を抜き、土を耕し、さらに土を深くまで掘り...と、想像よりも大変な作業でした。作業をしながら、そら豆のルーツや肥料のことなど、多くのお話をしてくださり、とても勉強になりました。その隣には、センターで初めて食べた時から大好きな「ツルムラサキ」があり、神崎さんのご厚意で、収穫させていただけることに。ツルムラサキは花も食べられるということで、収穫したてのものをその場でいただきました。採れたての野菜をそのまま食べる経験も初めてで、感動と驚きの連続でした！この農作業体験を通して、生産者と消費者が繋がることの大切さを学びました。私たちが普段お店で購入し、食べている食べ物はその両者がかけ離れていることがほとんどです。私が初めてセンターでツルムラサキを食べた時も、生産者である神崎さんやばんごんじんじいの農園のことは全く知りませんでした。しかし今回の研修で、どんな人が、どんな場所で、どんな風に栽培しているのか、そしてツルムラサキの新たな一面を知ることが出来ました。さらに、生産者と消費者がつながることで、食べ物への関わり方や意識もおおのずと変わってくるのではないかと、今回の研修で実感しました。今後は、研修で学んだ知識や感じたことを、ボランティア活動の中で子どもたちにも伝えていきたいと思います。(わかめ 大学3年生)



11月 食育プログラム 指導者養成講座

協力：有機農園ばんごんじんじい(姫路)
助成：キュービーみらいたまご財団

この時期に育っているお野菜を紹介していただきました。そしてツルムラサキに金時生薑、大根にかぶ、白菜に人参、葉玉ねぎにサトウキびと、たくさんのお野菜を収穫させていただきます。採れたて新鮮なお野菜は炒め物とお味噌汁にし、お風合飯としていただきました。その際、畑や種苗法改正についてお話を聞かせていただきました。印象的だったのはサトウキびを植える理由は、イネ科であるサトウキびを植えることで土が改良されるため、暖かい時期以外でも植えることがあるそうです。作物は収穫するためだけでなく、畑をより良くするためにも育てる必要があるのだなと



知ることも出来ました。他にも種苗法改正についてです。日本ブランドの野菜や果物の種が外国に流出し、ブランドを変えその国のものにされるのが無くなるのには良いことでは?と感じる反面、ばんごんじんじいさんのように受け継がれてきた種をみなさんごっそり、米養士 保育園勤務)と地域ブランドの作物が無くなるのではないかと、品種が減ったり、たりのするのは...と、とても難しいお話でしたが、普段生活している中では聞けないお話。貴重なお話を聞くことができ、農家の現状を少し感じることができ、二日目は学びにつなげられる日になりました。(さーよん 管理)



お米を炊くの子ども達と一緒に経験できたらな〜と。去年はマッチ一箱を使い切った火起こし。講習を受け、薪や木の枝の組み立て方はなんとなく覚えていたものの一発ではつかず...。今年はその豆を植えさせた。今後はそら豆を植えさせた。今後はそら豆を植えさせた。今後はそら豆を植えさせた。今後はそら豆を植えさせた。



おじいさんから受け継がれた種。一日目は近くの山に入り、そして夜ご飯は竹を使っ竹を切らせていただきました。太い竹をみんなで順番にノコギリでござきき...切きき、さつま芋を入れ節の外側、内側と作りたいのBBQ、具沢丸、一人できてるのでものに合わせて切り、飯合山汁、竹を支柱にしたハロー丸、一日はかかる。

継がれた大事なもので、緑色の柔らかいそら豆が茶色く固くなる種になった証。そら豆を植える前には一種類のくわを使い土を深く掘り、肥料を入れ、土を被せ平にする作業をした後、土からひよこつと顔が出るように50cm間隔でそら豆を植えていき、最後に日光を遮らないようにそら豆の周りにわらのお布団をかけてあげました。土を耕す作業をする事で土がふかふかになり、そら豆の根が下に広く深く育つことが出来ます。ただこの作業が大変!

1月 おもちつき



↑ 次回、油で揚げてくおかしに!

わくわく子どもキッチン

11月は「米粉のもちもちパン」づくり。食糧自給率アップに向けて、お米の活用を楽しもう!ということで、製粉機でお米から米粉を作ることからスタート!ユースメンバーがレシピを研究し、できるだけ工程をシンプルにし、材料を全部袋に入れて混ぜ合わせるなどの工夫をして楽しみました。とってももちりしたおいしいパンができました!
1月は「おもちつき」。もち米は、<結の里>にて稲刈体験させていただいたもの。例年ならつきたて餅をいろんな味で楽しむのが醍醐味ですが、今年はお土産にし、<餅花>づくりにチャレンジ!毎月減農薬のお米を分けさせていただいている岐阜の農家さんに、以前交流会で教わりました。雪国で花のないお正月を飾ろう、と枝に紅白の餅をつけてお正月飾りにする風習。細い枝にくりつづけるには、微妙な力加減で、子ども達は真剣まなざし。明るいニュースが少ないご時世ですが、心が明るくなる<餅花>が完成!

11月 米粉のもちもちパンづくり



↑ ミニ畑にて里芋を収穫!



たぐわん漬けにチャレンジ! 全て天然素材で優しいおいしさに完成!
カフトムシの幼虫

会員限定体験行事

①②は同一日に開催
2/28(日) 10~12時

午前中のみ

①わくわく子どもキッチン

対象：幼児(2才以上)の親子

こねる・まぜる・味わう・あらう...
2才からできることはいっぱい!

感動をみんなでつくる子どもが主役の台所!



2月：みそづくり
3月：調整中

大人は「口出さない
手を出さない」がモットー。
子ども達の体験活動は、
ユースメンバーや大学生
ボランティアさんがサポート。

(参加費)一人600円

② 寺子屋

対象：小中学生の親子

自然体験や職人さんから学ぶ
ものづくりを通して「自分で考え
行動する力」をのびます!



2月：みそづくり
3月：そばうち

あうち de コンサート



YouTube

子どもセンター完成 15周年記念
「オーケストラファミリーコンサート2020」

(2020.8月開催)

ダイジェスト版をお楽しみください!



演奏：大阪交響楽団
会場：住友生命いずみホール

3月(日程調整中)

上映会

オンライン
上映有



映画「できる ～セ・ポシブル～」

～若いフランス人カップルが日本で見つけた持続可能な暮らしの未来像～

甚大な被害をもたらした 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災。これまでのライフスタイルを見直し、よりエコロジカルで持続可能な暮らし方に移行した日本人は少なくない。これらの変化に熱視線を注ぎ、日本中を旅した 30 代の若いフランス人カップルがいる。日本とエコロジーが大好きなマキルダとジョナサンだ。将来、持続可能な生活をするを心に決めている彼らは、エコロジカルな暮らしの実践者たちに会うため、8ヶ月の間、ボランティアしながら日本を縦断することを決意する。



詳細はHPIに
アップしていきます →



0~3才の
親子向け

リラミック ～リラクゼーションリトミック～

第1・3木曜日
第4土曜日

に開催していますが、
しばらくの間お休みさせて
いただきます。
再開についてはHPIにて
お知らせいたします。



子どもの頃に体験した感動は一生もの! 生の舞台や自然体験・ほんまもの体験を通して
感受性を豊かにし、将来の可能性を広げます。ママさん、パパさん子どもの笑顔を生み出す活動に
参加しませんか? 子ども・若者達の豊かな教育・文化環境を一緒につくりましょう。

会員になると...

☆ 会員限定の体験活動に
参加できます!

☆ 舞台鑑賞に会員割引で
参加・先行申込ができます!

(入会金 500 円 + 年会費)

↓
幼児 5,000 円
小学生~大人 5,000 円
賛助会員 12,000 円

(賛助会員：舞台鑑賞年間 1 作品ご招待)

サポーター募集!

- ・取り組みに参加する。
- ・支援金で応援 (1 口 3,000 円)
- ・周知活動で応援

入会・参加 Q & A

Q 子どもだけで入会できる?

A 中学生以下は、保護者の方とご入会下さい。
行事も保護者の方とご参加下さい。

Q 子どもが行事に参加中、大人は何をするの?

A 昼食づくりやおまつりの準備などしながら
子育て話など... 大人もわきあいあいです。

Q O(お)は会員になれないが、遠出は
移動など大変なので、キャンプなど
の自然体験と一緒にいっていい?

O(お)も参加したいが、大人二人分の
会費は厳しい...

O(お)仕事の関係で会員の大人の参加が無理
な時、他の家族が代理で参加できる?

A 「家族登録」

パパ・ママ・おじいちゃん・
おばあちゃんなどの登録 OK
登録された方の「会員限定行事」
への参加が可能です
年間登録料 1,200 円
(保護者 1 名は必ずご入会下さい)